

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	可児市立蘇南中学校		
実 施 期 間	平成25年10月19日(土)～11月13日(水)		
実 施 概 要	①保護者・地域住民を対象とした学校公開 ②地域行事(公民館祭り等)へのボランティア参加や市民活動である「花いっぱい運動」への全校体制による参加		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	約470人	計 約500人
	地域関係者	約30人	
実 施 状 況	<p>■ 10/30(水) 全学級公開授業、保護者・地域の方を対象に講演会を実施。 約500名の方が授業参観等で来校された。本校は、4月・6月・10月に授業参観を実施し、生徒の姿や学校の様子を実際に目で見ていただいた。 授業参観後は、クロフネカンパニーの中村文昭氏による講演会を開催した。第1部は「出会いを生かせば道は開ける」(3年生生徒と保護者対象)、第2部は「でっかい子育て人育て」(保護者・地域住民対象)の演題で2回の講演を行った。 3年計画で全生徒が講師の人柄と生き様に触れることを意図し、本年度はその最終年度となった。講演を聞きながら、自らの生き方や人と人との絆を考える姿が生徒、保護者、地域住民に多く見られ、ふるさと教育週間のねらいに適した内容となった。</p> <p>■ 10/19(土)～11/10(日) 地域行事への積極的参加 校区の各公民館で開催される公民館祭り等に多くの生徒がボランティアとして参加し、活躍した。また美術部が地域の子どもたちと作品を作ったり、吹奏楽部が演奏を披露したりするなど地域との交流を深めた。 また、市民運動である「花いっぱい運動」に全校体制で取り組んだ。事前に分団長が小学生や自治会長さん等とも連絡を取り合い、「いつ」「どこに」集まり、「どんな活動」を行うのかを明確にして取り組んだ。11/10当日はあいにくの雨天となり、中止した地区もあったが、実施した地区については大半の生徒が参加した。</p> <p>■ 11/13(水) 「学校評議員会」開催 3年生の学級を中心に学校評議員が授業を参観。その後、本年度の学校経営方針、1・2学期の子どもたちの姿、学校評価の結果について説明。学校評議員からは、「地域行事で中学生が活躍している。次世代につながる動きがあり嬉しかった。」 「地域活動に子どもたちが満足感を得られるようにするには、しかける地域側の工夫が必要。」等の意見が出された。</p>		
成 果 及 び 課 題	<p><成果> ○授業参観後の講演会は、地域の回覧文書でお知らせしたり、生徒対象と保護者・地域住民を対象にしたものの2部構成としたりすることで、保護者や地域住民の関心が高まり、多くの参観者があった。また、講演内容の評価も多く寄せられた。 ○地域行事(各地区の公民館祭りや産業フェア等)へのボランティア参加や「花いっぱい運動」への参加などを通して、地域から中学生の活躍を認めていただく声が届いた。また、全校生徒分のボランティア手帳を作成し、活動の記録を残すことで生徒の励みにもなっている。今後も地域活動への積極的な参加を促し、地域を大切に、地域とともに歩む生徒を育てていきたい。</p> <p><課題> ● 地域の活動の中で多くの生徒が活躍しているという声がある一方で地域における生活マナーの悪さを指摘されることも多い。学校を離れ、地域で生活する生徒たちの公共のルールやマナーを守る意識を地域ぐるみで高めていく体制や働きかけの工夫が必要である。</p>		